

# 白峰三山-真夏の逆走ルート



(北岳南側から振り返り、間ノ岳・中白根山を望む)

期 間 : 2024 年 08 月 10 日(土)~12 日(月)

種 別 : 個人山行

山 域 : 南アルプス

参 加 者 : 前田

累積標高 : 上り 3,374m、下り 2725m

距 離 : 23.4km

コースタイム :

1 日目 6.6km

07:45 奈良田ゲート 8:30 登山登山道入口 11:30 大門沢小屋(テント地)

2 日目 11.9km

04:15 大門沢小屋 8:00 農鳥岳 9:40 農鳥小屋 11:15 間ノ岳

12:35 北岳山荘 14:00 北岳 14:45 肩の小屋(テント地)

3 日目 4.7km

06:15 肩の小屋 8:45 広河原

## 山行の目的：

同日において、師匠たち(河本、柴田)がヨーロッパ遠征、会代表たちは八ヶ岳で夏合宿ということで、私も一人夏合宿を企画した。ソロ山行であり、南アルプスの山行は初めてだったため、有名ルートの白峰三山縦走を選定した。しかし、お盆時期のため人手の多さを懸念した結果、奈良田から上がり、広河原へ下る逆走ルートを選んだ。また、トレーニングの一貫として、上り標高が高いこと、甲府駅でのステーションビバークできる選定理由であった。選定の結果、奈良田から白峰三山（農鳥岳、間ノ岳、北岳）に登り、広河原に下る行程を計画した。

## 記録：

### 0日目

#### 山行前夜、甲府駅ステーションビバークの様子



まずはバスタ新宿から、夜行バスで甲府駅を目指す。しかし、乗車直前に神奈川県全域に地震が発生し、中央高速の通行止めなどで、予定より3時間遅れの到着となったが、予定通り甲府駅でステーションビバークを行った。お盆休み前夜だったため大賑わいかと思いきや、10人程度と想定より少数であった。

## 1 日目

### 大門沢小屋手前の沢、釣人



早朝 4 時台のバスで広河原へ向かい、さらに奈良田行きバスに乗り換えた。想定通り、広河原は人手で溢れていたが、奈良田行きバスには 5 人程度と少人数であり、その後野営地まですれ違う方は多かったが、同じ方向に進む人はほぼおらず、静かな山行が可能であった。(良かった点①)

登山道からしばらくは沢沿いのルートが続いた。その途中、何度かルート方向を間違えた場面があった。河原だと踏み跡がなくなるため、正規ルートが分かりづらいことに注意したい。また、山中であってもヤブが濃いとルートを見失うことがあったため、踏み跡の見落としには注意したい。(反省点①)

計画通り 11:30 ごろに野営地である大門沢小屋へ到着した。一時は、農鳥小屋まで進むことも検討したが、前夜は仮眠程度であったため、早めの到着で休憩をとることで体力回復することができた。(良かった点②)

## 2日目

### 北岳からのパノラマ



大門沢小屋から白峰三山(農鳥岳、間ノ岳、北岳)を越え、肩の小屋で宿泊する計画であり、予定工程行程通りのペースで進むことが可能だった。

今回、装備において、以下3点工夫した。(良かった点③)

1. 歩行スピード向上・省エネルギー化する目的で、テント泊装備(シュラフ無し、火器は固形燃料を使用)を簡素化し、30Lザックに収めることでコンパクト化・軽量化した。
2. 紫外線低減・日当たりによる熱中症を予防する目的で、風が穏やかな場合、稜線上で日傘を使用した。
3. 睡眠時の快適性向上、公共交通機関での悪臭防止を目的として、ウール素材のウェアを寝間着・交通機関移動時の服として使用した。

### 日の入りと仙丈ヶ岳のコントラスト



野営地において、北岳バットレスをよく眺めることができた。来年は師匠たちのサポートを受けながらアルパインクライミングにチャレンジしたい。

日の出と鳳凰三山



最終日は広河原へ下山するだけであった。下山後、体力にはまだ余裕があったため、鳳凰三山から夜叉神峠への縦走も検討したが、翌日は業務だったため、諦めた。鳳凰三山は冬山でも雪崩などの心配が少ないとの情報を聞いているため、冬山の練習として山行したい。

総括の所感としては、3日間のソロ山行は初めてであったが、晴天に恵まれたこともあり、予定通りの山行計画を実施、目的を一通り達成することができたことは、今後の自信に繋がる結果となった。

